



伊東建築塾

NPOこれからの建築を考える

2024年度ご案内



©Shuhei Miyahata

2024年度の活動に向けて

2011年にスタートした「子ども建築塾」は今年で14年目を迎えました。小学校の4年生から6年生の子どもを対象に、当初は20名、2021年からは40名の子どもたちに年間を通じて「いえって何だろう」「まちって何だろう」というテーマで講座を続けてきました。2年、3年間続けて通った子どもたちもかなりいましたが、こうした子どもたちも含めると、この13年間に塾に通った子どもたちは延べ305人になります。

初期に子ども建築塾に通った子どもの中には大学で建築を専攻し、塾のTA(ティーチング・アシスタント)として参加してくれている卒業生も少なくありません。

また昨年からは福岡でも子ども建築塾を始めました。とりあえず前期のみ実験的に開催してみたところ、福岡在住の建築家たちの熱心な協力もあって、初回としては予想以上の大きな成果をあげることができました。

このように子ども建築塾は年毎に順調な発展を遂げ、応募する子どもの数も増加し続けています。これも子どもたちの個性や創造力を伸ばし、自由奔放に夢を描かせる教育方針に因るところが大きいと思われます。

公開講座では「～って何だろう」シリーズを続けていこうと考えており、今年もユニークな講師陣をお招きする予定です。世界の台所探検家として知られる岡根谷実里さん、チンパンジーの研究から人間とは何かを考えておられる齋藤亜矢さん、プラントハンターを自負する園芸家の西畠清順さん、元森アートミュージアムキュレーターの前田尚武さん、元竹中工務店の名現場主任として知られている木谷宗一さん、新建築住宅特集編集長の西牧厚子さん等々錚々たる顔ぶれです。乞うご期待を！

2024年3月

NPOこれからの建築を考える

理事長 伊東 豊雄



伊東豊雄

1941年生まれ。建築家。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」「台中国家歌劇院」(台湾)など。日本建築学会賞、ヴェネツィア・ビエンナーレ金獅子賞、プリツカー建築賞など受賞多数。

2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築を考える建築教育の場として様々な活動を行っている。また、自身のミュージアムがある愛媛県今治市大三島においては、塾生有志や地域の人々とともに継続的なまちづくりの活動に取り組んでいる。

「NPOこれからの建築を考える」は、東京の伊東建築塾と、瀬戸内海の大三島にある今治市伊東豊雄建築ミュージアムを結ぶ新しい建築教育の場です。この二つの機関を運営するために2011年にNPO法人を立ち上げました。これからの時代や社会に要請される、優れた人々を育成することを目的とし、人や自然との関係を包括的に捉え直す思想に基づいた建築教育を行っていきたいと考えています。

組織

理事長：伊東豊雄

副理事長：太田浩史

理事：所 洋介、長谷川浩司、矢内原充志、
橋田光靖、藤原史宣、尾越 優、
泉 洋子、東 建男、岡野道子、
アストリッド・クライン、柴田淑子

監事：古林豊彦

会員数（2024年2月1日現在）

正会員：個人 112 名、団体 16 社 計 128 名

賛助会員：計 10 社

活動内容

A 伊東建築塾事業

①会員公開講座（年間6回開催）

さまざまな分野で活躍する講師を招くレクチャーシリーズ。

②子ども建築塾（前期・後期2期制、年間20回開催）

年間を通じて建築の基礎を学ぶ子ども向けの建築スクール。

B 今治市伊東豊雄建築ミュージアム企画運営事業

展覧会企画

講演会・セミナー・コンサート・ワークショップ企画

運営サポート

活動場所

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿3丁目32-12

アクセス：恵比寿駅より徒歩約13分

※駐車場はございません。

お車で越しの方は、お近くの
コインパーキングをご利用ください。



伊東建築塾 恵比寿スタジオ ©Kai Nakamura



子ども建築塾の様子



今治市伊東豊雄建築ミュージアム ©Kai Nakamura

NPOこれからの建築を考える 会員募集のご案内

会員種別・会費

会員種別	入会金	納入額
正会員（個人・団体）	0円	10,000円（年会費7,000円、寄付金3,000円） ※10,000円を超える金額をお支払いいただいた場合は 寄付金とさせていただきます。
賛助会員（個人・団体）	0円	年会費300,000円／口（1口以上）

- ・正会員は当法人の目的に賛同し、活動を推進する個人および団体の方です。
- ・賛助会員は当法人の目的に賛同し、活動を援助する個人および団体の方です。

会員期間

新規（1年目）の場合、入会日より1年間（入会月の翌年同月末日まで）有効。

継続（2年目以降）の場合、更新月の翌年同月末日まで有効。

会員特典

正会員（個人・団体）

- ・会員公開講座の受講料が無料となります。（各回1名まで）
ただし、各回事前のお申し込みが必要です。お申込み多数の場合、先着順とさせていただきます。
- ・会報「Ito Juku Letter」と各種広報物をお送りします。

賛助会員（個人・団体）

- ・会員公開講座の受講料が無料となります。（各回2名まで）
ただし、各回事前のお申し込みが必要です。お申込み多数の場合、先着順とさせていただきます。
- ・当法人のウェブサイト、会員様の法人名およびウェブサイトのリンクを掲載させていただきます。
- ・会報「Ito Juku Letter」と各種広報物をお送りします。

入会・継続お申込みと会費納入方法

- ・当法人のウェブサイトの入会お申込みフォームに必要事項をご記入のうえ、送信下さい。
<http://itojuku.or.jp/course/a/form/>
- ・下記の銀行口座までお振込みにてお支払い下さい。

みずほ銀行 青山支店 普通 2041381

特定非営利活動法人これからの建築を考える トクヒ）コレカラノケンチュウオカンガエル

- ※ 恐れ入りますが、振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。
- ※ お申込みフォームの受理とご入金確認をもって、入会・継続手続きが完了いたします。

会員公開講座

「～って何だろう？」

— 建築関係者に限らず、広く一般の方を対象として「これからの建築」のあり方を考えます。

今日私達はスマートフォン等の利用によって情報や知識が容易に手に入るようになった反面、物事について考えなくなっていました。「何故？」と問いかけることがなくなってしまったのです。

そこで本講座では著名な講師に御登場頂き、各専門分野の本質を子ども(小学生高学年程度)でも理解できるような平明さで語っていただこうとするものです。

講師(50音順)

*モデレーター:伊東豊雄

「食」って何だろう

岡根谷実里

(世界の台所探検家)



世界の台所探検家。1989年、長野県生まれ。東京大学大学院工学系研究科修士修了後、クックパッド株式会社に勤務し、独立。世界各地の家庭の台所を訪れて一緒に料理をし、料理を通して見える暮らしや社会の様子を発信している。講演・執筆・研究の他、全国の小中高校への出張授業等を実施。近著に「世界の食卓から社会が見える(大和書房)」。

「建築現場」って何だろう

木谷宗一

(一級建築士)



一級建築士、1級建築施工管理技士、1952年6月1日生まれ。1971年4月(株)竹中工務店入社。作業所、竹中技術研究所、東京本店技術部、作業所を経て、生産本部建築技術部長、同本部技術管理部長、同本部専門役を歴任。2018年3月退社。受賞「日本建築学会教育賞」「日本能率協会KAICA賞」著書『建築現場ものづくり魂』(彰国社2021年)

「人間」って何だろう

齋藤亜矢

(認知科学者)



京都芸術大学文明哲学研究所教授。京都大学理学部を卒業後、同大学院医学研究科、東京芸術大学大学院美術研究科修了。博士(美術)。進化や発達の視点から、芸術するところの起源について研究している。著書に『ヒトはなぜ絵を描くのか—芸術認知科学への招待』『ルビンのツボ—芸術する体と心』(岩波書店)など。

「植物」って何だろう

西島清順

(プラントハンター)



日本各地、世界中を旅してさまざまな植物を収集し、国内外の政府機関、企業、王族貴族など、様々な依頼やプロジェクトに応じて植物を届ける現代のプラントハンター。2012年、そら植物園を設立。数々のイベントやアートプロジェクトなど、累計1000件を超える多様な案件を成功に導き、業界に旋風を巻き起こしている。

「住宅」って何だろう

西牧厚子

(編集者)



2002年より建築出版社新建築社で編集者として在籍。『新建築』の編集を経て、2011～2014年『JA』編集長、2014年より現在まで『新建築住宅特集』編集長。その他主な責任編集本として、2011年6月臨時増刊『今、建築について思うこと——3.11を経て』、新建築創刊85周年記念『住宅10年』、2017年8月別冊『Japanese House/日本の家』など。

「アート」って何だろう

前田尚武

(一級建築士・学芸員)



早稲田大学建築学科卒業後、1994年同大学院修士課程修了。2003年より森美術館に在籍。展示デザイン、建築展企画、国内外の美術館・博物館計画に携わる。2019年京都市京セラ美術館に移籍。「モダン建築の京都」展(2021)、「京都モダン建築祭」(2022-)を企画。2019年度日本建築学会文化賞、日本空間デザイン賞2021博物館・文化空間部門金賞ほか受賞。

開催日数

年間 全6回(土曜午後もしくは夜、1回あたり2～3時間を原則としています。)

*都合によって変更の可能性がございます。

会場

伊東建築塾 恵比寿スタジオ
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3丁目32-12

受講対象

正会員、賛助会員、塾生、TA

定員

60名

受講料

無料

申込方法

開催日の1ヶ月前までにご案内のメールを配信しますので、指定の方法にてお申込みください。

過去の講座のレポートは伊東建築塾のブログから
ご覧いただけます。

<http://itojuku.or.jp/blog/>



子ども建築塾

「いえとまちって何だろう？」

— 子どもたちの建築やまちに対する意識を高め、思考や表現の個性をのびします。

小学校高学年の児童を対象に、一年を通して建築やまち、環境について考えます。

前期は「いえ」をテーマに、住宅のスケールや模型のつくり方、発表の仕方などを学びながら、想像力あふれる「いえ」を設計します。後期は「まち」をテーマに、まちの成り立ちや公共空間、ランドスケープについて考えます。

テーマ

前期課題(4～9月) 『楽しい屋上暮らし』

後期課題(10～3月) 『いただきます島Ⅱ』

講師

伊東豊雄
(建築家)



1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「多摩美術大学図書館(八王子キャンパス)」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」「台中国家歌劇院」など。

アストリッド・クライン
(建築家)



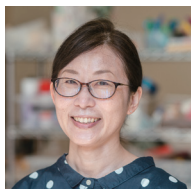
クライン ダイサム アーキテクト (KDa) 代表。共にRCAを修了したマーク・ダイサムと1991年に設立。主な作品に「代官山T-SITE/蔦屋書店」「GINZA PLACE」「星野リゾート リゾナーレ那須 POKO POKO」「toggle hotel suidobashi」など。www.klein-dytham.com

太田浩史
(建築家)



1968年東京生まれ。1993年東京大学大学院建築学専攻修士課程修了。スープ代表。東京ピクニッククラブ共同主宰。博士(工学)。主な作品に「Populou SCAPES」「久が原のゲストハウス」「矢吹町第一区自治会館」など。

柴田淑子
(建築家)



東京都生まれ。日本女子大学大学院修士課程修了。1999年より建築設計事務所エアーを共同主宰。子ども・教育に関する施設や寺院、住宅などの設計に携わる。主な作品に「真理学園幼稚園」、「神田寺別院」など。

式地香織
(建築家)



日本女子大学大学院修士課程、伊東豊雄建築設計事務所を経て、フリーランス。大学におけるデザイン教育の経験と建築家としての職能を活かして、子どもたちの生きる力や場を育むべく、コドモチョウナイカイ事務局を設立。

その他

子ども建築塾関連のクラス

【伊東子ども建築塾 福岡】

前期(4～8月)開講

<https://itojuku.or.jp/course/children/fukuoka/>



中高生講座【GAKU】

半期(秋頃～3月)開講

<https://gaku.school>



時間・回数

隔週土曜日 13:00～14:30/15:30～17:00 全20回、2期制(前期10回/後期10回)

※授業内容により、曜日・時間を変更する場合がございます。

※原則として、年間通塾いただける方のみお申し込みいただけます。

受講対象 定員

小学校高学年(4年～6年)の児童

40名

※定員を超えるご応募があった場合は、模擬授業による選考を行わせていただきます。

※模擬授業では、約1時間の間、出題されたテーマの「いえ」のスケッチを描きながら、講師が個別に対話を行います。

受講料

年間152,000円(月額11,000円×12ヶ月 + 教材費20,000円/年)

※通塾にかかる交通費は、別途ご負担ください。

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。<http://itojuku.or.jp/course/children/form/>



TA（ティーチング・アシスタント）募集

— 塾生一人ひとりの特性や理解の度合いを把握し、学習や制作をサポートのお手伝いをお願いしています。

子ども建築塾では、TA（ティーチング・アシスタント）の募集をしています。塾生たちの授業のサポートをしながら、講師の建築家から直接レクチャーを受けたり、建築家が設計した建物を見学したり、子どもたちと一緒に建築を学べるだけでなく、大学や職場を超えた建築仲間ができるチャンスです！

TAにお願いしている3つのサポート



技術面のサポート

道具や材料選び、模型の表現方法、スケッチの描き方などのフォロー



ファシリテーター

先生方からのコメントの要約



授業準備

主に後期まち課題などのみんなで使う敷地模型の準備

TAになって経験できること



講師・TA間での意見交換

前期・後期の授業がはじまる前に、TA向けの課題説明会を行います。子どもたちが取り組む課題を事前に共有し、講師と意見交換を行います。



見学会の参加

課題に合わせた見学会を行っており、当日の引率を若干名にお願いしています。
※授業内容により、中止となる場合もございます。



建築家の講師からの指導

授業内で行われる塾生向けの特別なレクチャーと一緒に聴講でき、日々の授業内でも、直接講師からレクチャーを受けられます。



TA間でのイベント企画

TA有志でのイベント企画も大歓迎です。過去には、見学会やピクニックに出かけたり、大学や仕事で取り組んでいることの発表会などを行いました。

時間・回数

隔週土曜日 13:00～14:30／15:30～17:00 全20回、シフト制

※授業内容により、曜日・時間を変更する場合がございます。

対象

大学生以上

定員

なし

特典

会員公開講座の無料聴講（ご本人のみ）

交通費

各回500円支給

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。<http://itojuku.or.jp/course/children/taform>



今治市伊東豊雄建築ミュージアムは、瀬戸内の美しい多島海の中央に位置する大三島に2011年に開館しました。主に展示に使用される「スチールハット」と、アーカイブの保存およびワークショップの場となる「シルバーハット」があり、伊東建築塾が取り組む大三島のまちづくりの活動を紹介する他、これからのまちや建築について考えるレクチャーや子どもを対象としたワークショップなど、さまざまな活動を行っています。



スチールハット ©Daici Ano



シルバーハット ©Daici Ano

2023年度のイベント



展示風景 ©Shuhei Miyahata

今治市伊東豊雄建築ミュージアム2023年度展覧会 大三島みんなの参道物語

会期: 2023年10月8日～2024年9月13日

本展示では神奈川大学曽我部・吉岡研究室と関東学院大学柳澤研究室の学生とともに大三島の参道の賑わいを取り戻すためのアイデアを提案しています。参道で働く人や小中高生のリアルな声を拾い上げたインタビュー映像もご覧いただけます。今後のアイデアの実現に向けた取り組みにもぜひご注目ください。



制作風景 ©Kaako Yoshino

子どもワークショップ「大三島・わたしたちの『す』をつくろう！」

日時: 2023年7月29日

講師: 式地香織

今治の小学4～6年生の子どもを対象に、子どもワークショップを開催しました。建築家の式地香織さんをお迎えし、建築の構造を紙ストローでスタディしながら、動物の「す」をヒントに自分たちの居心地の良いお気に入りの空間をつくりました。



開催風景 ©Kaako Yoshino

オカリナとギターのコンサート「涼風」

日時: 2023年10月21日

出演: 茨木智博、大柴拓

岩田健母と子のミュージアムにてオカリナ奏者の茨木智博さんとギター奏者の大柴拓さんをお迎えしました。茨木さんの「涼風」や大柴さんのオリジナル曲を交えた9曲をご演奏いただき、お二人の魅力が満載のコンサートとなりました。